

富大比較文学 第四集

富山大学比較文学会編集・刊行

演劇特集号

2011

森鷗外における「耳」の表現・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 錦織なな子（1）

——その戯曲、小説に響く「音」——

『人形の家』と職業婦人・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 山元 渚（11）

——イブセンの日本受容による女性の生き方の変化——

中谷徳太郎研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 谷田辺智子（23）

——「シバキ」を中心に——

芥川龍之介「桃太郎」論・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 崎川 美央（47）

——啓蒙家としての芥川龍之介——

川端康成と少女小説・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 佐藤 真衣（55）

——『小公女』の翻訳からみる川端の目指した少女小説——

寺山修司とラジオドラマ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 肥田こずえ（67）

——詩と劇、言葉の可能性——

森鷗外『棕島通信』への視角4・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 金子 幸代（79）

——『棕島通信』の原典ベルリナーターゲブラットと発禁問題——